

我が国の飲酒パターンとアルコール関連問題に関する現状

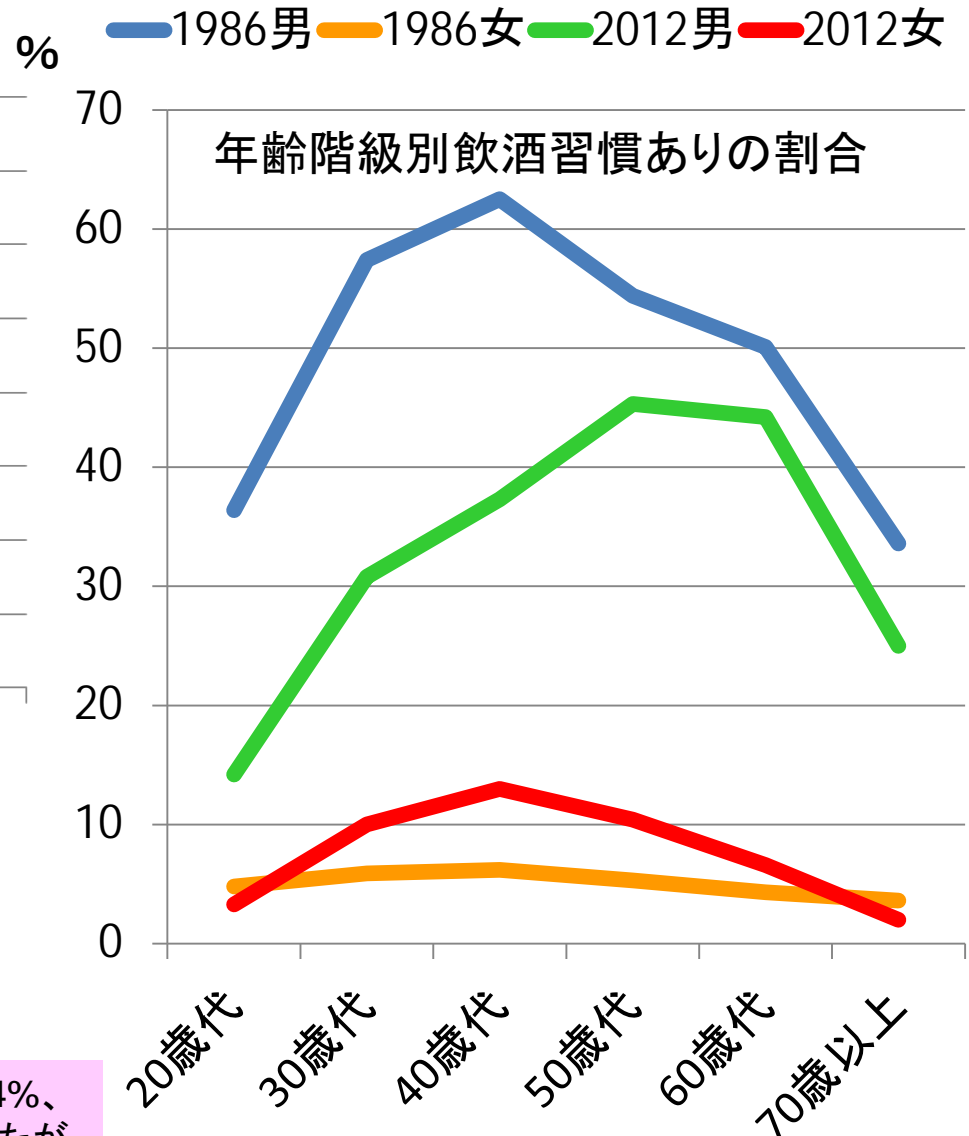
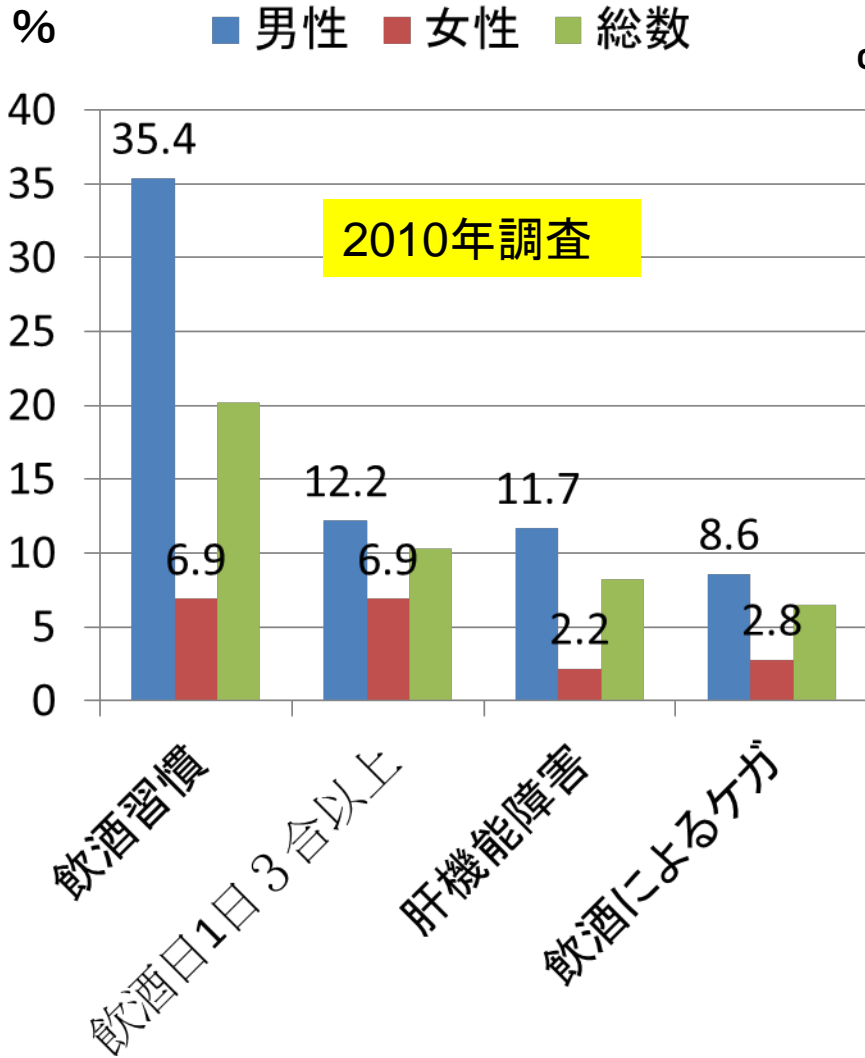
鳥取大学医学部 環境予防医学分野

尾崎米厚

成人の飲酒行動の実態

- 男性の飲酒率は減少傾向。女性ははっきりしない。問題飲酒者の頻度の高い年齢階級が女性は若い。軽度の飲酒者が減少し、重篤な問題飲酒者は減少していない。
- 若年者の問題飲酒者の頻度に男女接近状況がある。若年者は機会大量飲酒をする頻度が高い。
- 問題飲酒者は初めての飲酒年齢が低い。
- 多くの問題飲酒者は、治療を受けていないが、医療機関や健康診断は受診している(節酒指導は受けていない)
- 問題飲酒の度合いが悪いほど、「やめたい」あるいは「減らしたい」人の割合は高い(特に減らしたい人)が、機会大量飲酒者ではその割合が低い。
- 飲酒行動は、性、年齢、配偶関係、就業状況、世帯収入等と関連がある

国民健康栄養調査の結果の概要

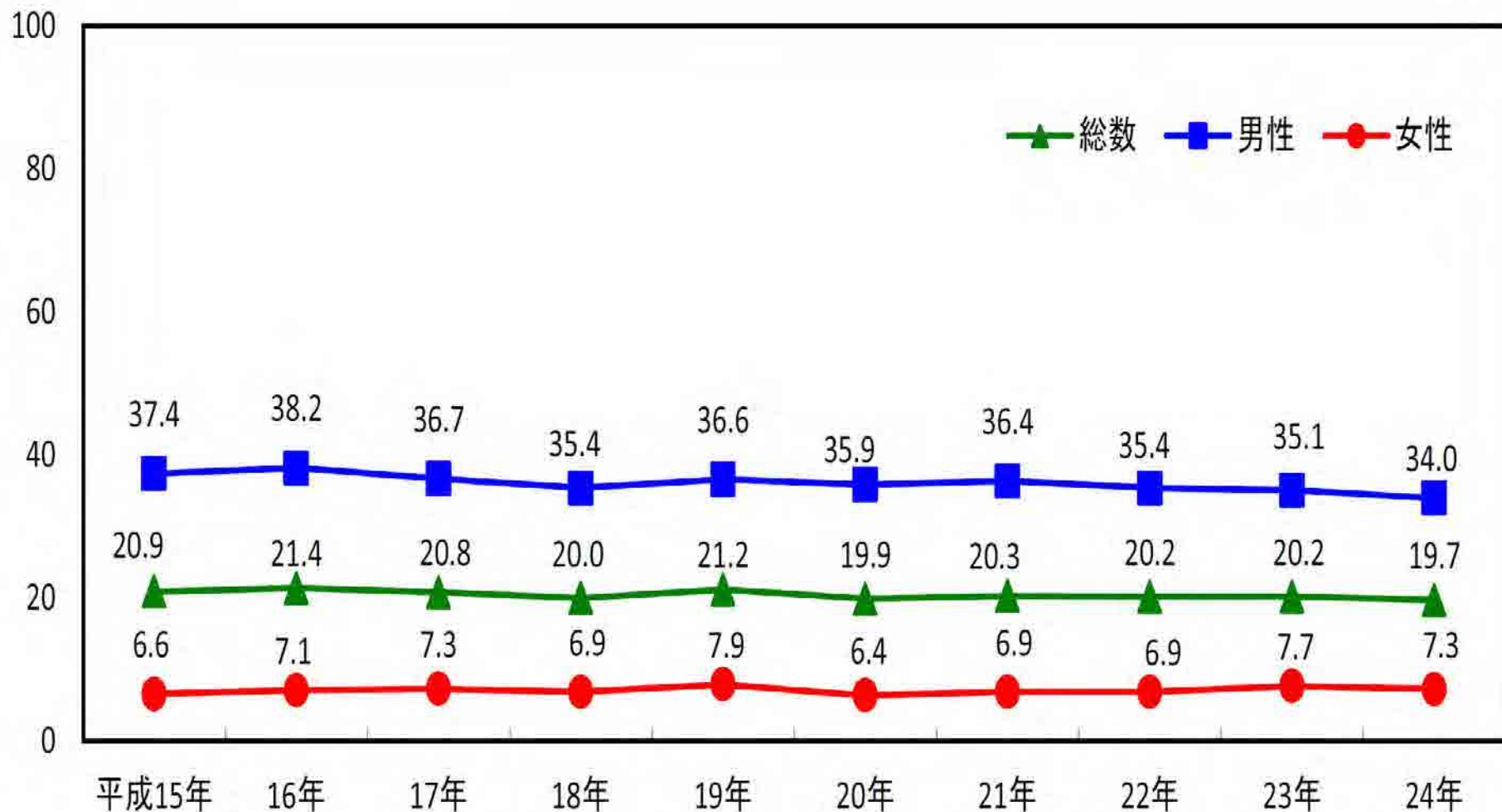


肝機能障害を指摘されたことがある人のうち男性49.4%、女性39.4%は、治療を受けたことがない。過去に受けたが今は受けていない人が男性30.7%、女性33.3%

飲酒習慣あり; 週3日以上かつ飲酒日1日当たり1合以上飲酒する。3合以上 = 飲酒頻度がある人

図16-1 飲酒習慣のある者の割合の年次推移(20歳以上) (平成15~24年)

(%)



※「飲酒習慣のある者」とは、週に3日以上飲酒し、飲酒日1日あたり1合以上を飲酒すると回答した者

※平成24年のみ全国補正值。

成人の飲酒行動に関する全国調査

わが国の成人の飲酒行動の実態を明らかにするために、層別2段無作為抽出した20歳以上の成人を対象に、調査員による訪問面接調査を実施。アルコール使用障害同定テスト (Alcohol Use Disorders Identification Test (AUDIT))、ICD-10の診断方法によるAD、ADの現在治療、過去治療、この1年間に医療機関または健診受診の有無等を調査。AUDITの20点以上をAD疑者、15点以上を潜在的AD者とした。

	2003年調査	2008年調査	2013年調査
回答数	2,547	4,123	4,153
回答率	73%	69%	59%
飲酒者率(過去1年間)	男85.3%、 女61.8%	男83.1%、 女60.9%	男80.8%、 女59.8%
飲酒者率(調査前1年間) 国民健康栄養調査	2003年 男69.3%、 女33.3%	2008年 男68.2%、 女32.9%	2012年 男57.7%、 女31.7%
国民健康栄養調査による飲酒率(習慣者:週3回以上、1日1合以上飲酒)	2003年 男42.9%、 女9.3%	2008年 男35.9%、 女6.4%	2012年 男34.0%、 女7.3%